

# 「徳島版読解力」を育成するための学習活動モデル

## 「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

- 1 正確に読む力（多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力）
- 2 必要な情報を取り出す力（読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力）
- 3 比較・関連付けて理解する力（取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見いだしたりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力）
- 4 見直す力（取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力）
- 5 発信する力（取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力）

学習場面		学習活動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例	
授	導入 （個別学習）	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。	1・4	【音読、黙読、視写、聴写】	【インターネット】
			○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。	1		
			○心に残る表現や大事だと思うところを探す。	1	【傍線や下線を引く】	
			○全体をいくつかの部分（問題、例、データ、まとめなど）に分けたり、事実と考えを区別したりする。	2	【丸や四角で囲む】	
			○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。	3・4	【線をつなぐ】	
			○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。	1・2	【図、表、思考ツール】	
	B 読み取り、考えたことを書き表す	○問題の解決につながりそうな部分を見付ける。	3	【辞典、事典】		
		○思いついたことを書き留める。	1・2	【メモ】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】	
		○箇条書きにしたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。	3・5	【付箋】 【ノート、ワークシート】		
		○書き留めたことを見返し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	4・5	【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】		
業	展開 （協働学習）	C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。	1		【相互評価、コメント】
			○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。	2	【話し合い、討論（ペア・グループ・クラス）、スピーチ】	
			○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。	3		
			○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。	4	【ポスターセッション】	
	D 交流を生かして考えを表現する	○他者と協力して問題を解決する。	5	【質問、応答】 【図、表、思考ツール】		
		○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。	1・2	【メモ】	【メモ・付箋機能】 【画像や動画のキャプション】	
（振個別返学習）	E 学んだことを振り返る	○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。	4・5	【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】		
		○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	2・3	【線をつなぐ】 【図・表・思考ツール】		
		○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを見直し、表現する。	3・4	【線をつなぐ】 【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】 【画像、動画】 【学習支援クラウドアプリ】	
		○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことも記録に残す。	5			
○新たに生じた疑問や、次に向けての目標を書き留める。	2・4	【メモ】 【付箋】				
○個々の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。	3・5	【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】				
授 業 外	身に付けた学習方法を、新たな問題解決に活用する	○興味・関心のあることや、予習・復習で芽生えた疑問に関係する情報を集める。	1・3	【書籍】	【インターネット】 【メモ・付箋機能】 【学習支援クラウドアプリ】	
		○読書や会話を通して、生活の中で出会う様々な問題に関心を持ち、語彙力を高める。	4	【家族や友達などの他者】		
		○集めた情報を読んだり、心に留まったことを記録したりする。	1	【書籍】 【会話】		
		○学習したツール等を使って、多様なメディアに触れ、見たり、読んだり、聞いたり、表現したりする。	2・3	【自主学习ノート】		
			2・5	【書籍】 【新聞】		